

# 令和6年度 シラバス

教科名	国語	科目名	論理国語	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	論理国語 大修館		
科目目標	<p>文章を的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
履修上の注意点	<p>授業：論理的な文章を読解することで実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、国語に関する知識・技能の定着を目指す。また、自己の考えたことを作文等に表現することで論理的に思考・判断し表現する力の発達を目指す。</p> <p>提出物・討議等：主体的に学びに向かう態度の育成を目指す。</p>				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	小テスト			○	
	課題・ノート提出			○	
	課題考査	○	○		
	各観点の割合	30%	40%	30%	

## 指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	【第Ⅱ部】 1 自己と他者  2 コミュニケーションの手段  3 メディアの変容  4 言語の探究	人はなぜ贈与するのか	26 (6)	<p>筆者の主張を理解し、自分の考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と人のつながりについて理解し、社会における自分の存在についての考えをもつ。</li> </ul>	知：定期考査 課題考査 思：定期考査 課題考査 主：提出物 小テスト
		記号論的メディアと物理的メディア	(7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書き言葉」「話し言葉」等と「手話」「ジェスチャー」等の違いについて考えを深める。</li> <li>・メディアが伝えることについて、批判的に考えることを通して、情報の正しい受け取り方について考えを深める。</li> </ul>	
		ポスト真実時代のジャーナリズムの役割	(6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉と世界の認識の関係について理解し、言葉の持つ意義について考えを深める。</li> </ul>	
		猫は後悔するか	(7)		
2	【第Ⅱ部】 5 政治と社会   6 環境へのまなざし	政治を支える心構え	32 (7)	<p>論理の展開を読み取り、自分の考えを表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が市民として政治に参加することの意義を考え、社会人としての姿を表現する。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 主：提出物 小テスト
		「である」と「する」こと	(9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の立場とそれを支える行動の関係について理解し、自分を含めた人間があるべき姿について考え、表現する。</li> </ul>	
		生物多様性の恩恵人	(7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境破壊が招く生物の多様性の喪失は、人間が学ぶべきことも喪失させる危険性について考え、表現する。</li> </ul>	
		地球システムの中の人間	(9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系の保全という考え方についての筆者の主張を理解し、自身のものの見方を広げ、表現する。</li> </ul>	
3	読む 話す  聞く 書く	ビブリオバトル	12 (8)	<p>自分を見つめ、考え、発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身で読んだ本の内容を効果的に伝える技能を習得する。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 主：ビブリオバトル  小論文
		小論文	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の文章について、自分の意見を書く。</li> </ul>	

# 令和6年度 シラバス

教科名	国語	科目名	古典探究	履修学年	第3学年 (理型)
単位数	2単位	使用教材	精選古典探究 古文編・漢文編 東京書籍		
科目目標	<p>「知識及び技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、伝統的な言語文化に対する理解を深める。</li> </ul> <p>「思考力、判断力、表現力等」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>論理的に考える力や、共感・想像力を伸ばし、古典を通して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力を育てる。</li> </ul> <p>「学びにむかう力、人間性」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典について関心を深め、作品や文章を自分自身の経験に結び付け、考えを深める。</li> </ul>				
履修上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LOOK@古文単語337の持参</li> <li>・『やさしくくわしい古典文法』の持参</li> </ul>				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	提出課題			○	
	小テスト			○	
	課題考査	○	○		
	各観点の割合	30%	40%	30%	

## 指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	日記2 (古文) 評論 (古文) 作り物語2 (古文) 評論 (古文) 白楽天と日本文学 (漢文)	『紫式部日記』 日本紀の御局 『無明草子』 紫式部 『源氏物語』(二) 夜深き鶏の声 【若菜上】 『源氏物語玉の小櫛』 もののあはれの論 白楽天 『長恨歌』	31 (21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日記の記述を通じて、作者の考え方や感じ方を学ぶ。</li> <li>女流作家(紫式部)について学ぶ。</li> <li>文章の内容を的確に理解し、登場人物の心情や行動を確認する。</li> <li>敬語の理解を深めるとともに、主要な登場人物の人間関係について理解する。</li> <li>『源氏物語』を通して、文法、敬語、先人のものの見方や考え方、生活環境などを学ぶ。</li> <li>『源氏物語』桐壺巻に強い影響を与えた作品を比較し、共通点や相違点を読み取り、作品を味わう。</li> <li>詩の社会性、文学性を解する。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
	歴史物語1 (古文)	『大鏡』 花山天皇の出家 三船の才	(6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史物語の視点を理解する。</li> <li>歴史上の人物について、その描写を通じて背景、魅力ある人物像を読み取る。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
	史記2 (漢文)	荊軻伝	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文の文章の構成や句法、表現の特色などを学び、ものの見方や感じ方、作者の考え方を理解する。</li> <li>『史記』を読み、歴史上の人物の行動や心情について考え、人間のあり方について理解する。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
2	作り物語3 (古文)	『落窪物語』 姫君の苦難	31 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作り物語の世界を味わう。</li> <li>登場人物の心理を読み取る。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
	史記1 (漢文)	項羽 鴻門之会 四面楚歌	(12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文の文章の構成や句法、表現の特色などを学び、ものの見方や感じ方、作者の考え方を理解する。</li> <li>『史記』を読み、歴史上の人物の行動や心情について考え、人間のあり方について理解する。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
	小説2 (漢文)	小説 桃花源記	(9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の内容を的確に理解し、登場人物の心情や行動を確認する。</li> <li>「桃源郷」の意味を知り、作品の成立理由を中国の歴史に触れながら、文学としてどう影響しているか理解する。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
3	詩3 (漢文)	李白と杜甫 『月夜』 『登岳陽楼』	8 (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本文学に強い影響を与えた唐詩、その代表詩人の詩を通じて、唐の文化を知る。</li> <li>• 詩の決まりを習熟する。</li> <li>• 詩の社会性、文学性を解する。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題

令和6年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	地理探究	履修学年	第3学年
単位数	3単位	使用教材	教科書 帝国書院「新詳地理探究」 副教材 二宮書店「詳解現代地図」		
科目目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>				
履修上の注意点	<p>①学習の基本は授業である。主体的に取り組むこと。</p> <p>②授業に必要な教科書などを忘れず持参すること。</p> <p>③復習やノート・課題等の提出を怠らないこと。</p>				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査・課題考査	○	○		
	小テスト			○	
	課題		○	○	
	授業プリント類		○	○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

# 指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時数	指導内容	評価項目	
一学期	第1部 現代世界の系統地理的考察	<b>第1章 自然環境</b>				
		序説 地球環境と人間	2	○地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	(知識・技能) 定期考査	
		1節 地形	3			
		2節 気候	3			
		3節 日本の自然環境	3			
		4節 地球環境問題	3	○地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。	(思考・判断・表現) 定期考査 課題・授業プリント類	
		<b>第2章 資源と産業</b>				
		1節 農林水産業	3	○資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	(主体的に学習に取組む態度) 小テスト	
		2節 食糧問題	3			
		3節 エネルギー・鉱産資源	3	○資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。	課題・授業プリント類	
		4節 資源・エネルギー問題	3			
		5節 工業	3			
		6節 第3次産業	3			
		<b>第3章 交通・通信と観光、貿易</b>				
		1節 交通・通信	2	○交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。		
		2節 観光	3			
		3節 貿易と経済圏	3	○交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。		
		<b>第4章 人口、村落・都市</b>				
		1節 人口	3	○人口、都市・村落などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。		
		2節 人口問題	3			
		3節 村落と都市	3			
		4節 都市・居住問題	3			
		○人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。				
		<b>第5章 生活文化、民族・宗教</b>				
1節 衣食住	3	○生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。				
2節 民族・宗教と民族問題	3					
3節 国家の領域と領土問題	3	○生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。				



# 令和6年度 シラバス

教科名	理科	科目名	物理	履修学年	第3学年
単位数	3単位	使用教材	教科書 数研出版 物理 問題集 数研出版 リードLight ノート物理基礎 リードLight ノート物理 リード $\alpha$		
科目目標	<p>・日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p>				
履修上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持参物：教科書、問題集、授業ノート</li> <li>・ 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。</li> <li>・ 物理量の単位や測定値の有効数字に注意をして計算をする。</li> <li>・ 実験をした内容と物理の基本原則・法則を関連づけて理解する。</li> </ul>				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	課題（問題集）			○	
	実験および 実験レポート		○	○	
	小テスト			○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

## 指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	第4編 電気と磁気	第1章 電場 1.静電気力 2.電場 3.電位 4.物質と電場 5.コンデンサー  第2章 電流 1.オームの法則 2.直列回路 3.半導体	39 (15)  (24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静電気力や電界と電位の関係について理解する。</li> <li>・コンデンサーの性質を理解する・典型的な直列回路について理解する。</li> </ul>	知：定期考査  思：定期考査 実験レポート  主：課題（問題集） 実験 実験レポート 小テスト
2	第4編 電気と磁気・第5編 原子	第3章 電流と磁場 1.磁場 2.電流のつくる磁場 3.電流が磁場から受ける力 4.ローレンツ力  第4章 電磁誘導と電磁波 1.電磁誘導の法則 2.自己誘導と相互誘導 3.交流の発生 4.交流回路 5.電磁波  第1章 電子と光 1.電子 2.光の粒子性 3.X線 4.粒子の波動性	39 (15)  (24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電流が作る磁界や、電磁力、ローレンツ力について理解する。</li> <li>・電磁誘導と交流について、現象や法則を理解する。</li> <li>・電子の性質や、電子と光の粒子性と波動性について理解する。</li> </ul>	知：定期考査  思：定期考査 実験レポート  主：課題（問題集） 実験 実験レポート 小テスト
3	第5編 原子	第2章 原子と原子核 1.原子の構造とエネルギー準位 2.原子核 3.放射線とその性質 4.核反応と核エネルギー 5.素粒子	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子の構造及びスペクトルと電子のエネルギー準位に関係について理解する。</li> <li>・原子核の構造を理解する。</li> <li>・原子核の崩壊及び核反応について理解する。</li> <li>・素粒子の存在について知る。</li> <li>・物理学が新しい科学技術の基盤となっていることを理解する。</li> </ul>	知：定期考査  思：定期考査 実験レポート  主：課題（問題集） 実験 実験レポート 小テスト

# 令和6年度 シラバス

教科名	理科	科目名	生物	履修学年	第3学年
単位数	3	使用教材	教科書(生物・啓林館)、資料集(フォトサイエンス生物図録・数研出版)、ワーク(新課程リードα生物基礎+生物・数研出版)、プリント、タブレット		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験やデータなどの分析を行い、生物学的に探究する能力と態度を身につける。</li> <li>・生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。</li> </ul>				
履修上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持参物：教科書、ノート、資料集、タブレット</li> <li>・配布プリントはノートに貼り、整理し管理すること。</li> </ul>				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	ワークシート (問題集)		○	○	
	実験レポート・ 探究活動		○	○	
	小テスト	○		○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

# 指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	3部 遺伝情報の発現と発生 / 4部 生物の環境応答	8章 発生と遺伝子の発現 3節 発生と遺伝子の発現  9章 バイオテクノロジー 1節 遺伝子を扱った技術  10章 刺激の受容と反応 1節 刺激の受容	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオテクノロジーの原理とその応用を見ていく。</li> <li>・外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応するしくみを学び、刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解する。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 実験レポート・探究活動 主：ワークシート(問題集) 実験レポート・探究活動
		2節 神経 3節 神経系 4節 効果器  11章 動物の行動 11節 生得的行動 12節 学習	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神経系と関連づけられる動物の行動を主に扱うこととする。行動に生まれつきのものと学習によるものがあることを理解する。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 実験レポート・探究活動 主：ワークシート(問題集) 実験レポート・探究活動
2	4部 生物の環境応答	12章 植物の環境応答 1節 植物の発芽と発生 2節 発芽と成長	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の配偶子形成と受精、胚発生と種子の形成、花器官の分化について学ぶ。</li> <li>・植物が周りの環境からの刺激に应答するしくみを学び、その際に植物ホルモンや光受容体が関係することを理解する。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 実験レポート・探究活動 主：ワークシート(問題集) 実験レポート・探究活動 小テスト
		5部 生態と環境	13章 個体群と生物群集 1節 個体群とその変動 2節 種内関係 3節 種間関係	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の生活に影響を及ぼしている環境と生物との関係について理解する。</li> <li>・同種の個体や異種の個体が相互作用を及ぼし合っていることを理解する。また、個体群レベルから順にそれぞれの段階で繰り上げられる生物の様々な営みと、環境との関係について理解する。</li> </ul>
3	5部 生態と環境	14章 生態系 1節 生態系と物質生産 2節 生態系と生物多様性  総合演習	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系における物質生産とエネルギー効率について学ぶとともに、生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識する。</li> </ul>	知：定期考査 思：定期考査 実験レポート・探究活動 主：ワークシート(問題集) 実験レポート・探究活動 小テスト

# 令和6年度 シラバス

教科名	保健体育	科目名	体育	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	現代高等保健・ステップアップ高校スポーツ 2022		
科目目標	<p>① 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正・協力・責任などの態度を身に付ける。</p> <p>② 自己やグループの能力や運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫し、必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。</p> <p>③ 選択した運動種目の技術やルールなどの理解を深める。</p> <p>④ 現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、生涯にわたる豊かなスポーツライフを設計し実践していく方法を身に付ける。</p>				
履修上の注意点	<p>① 領域に応じた服装で受講する。</p> <p>② 学習ノートの提出を行う。</p> <p>③ 運動制限等がある者は別の課題を行い評価を受ける。見学する際は見学届けを記入し、提出する。</p> <p>④ 球技については、3回の選択で同一種目を選択することはできない。</p>				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	主体性			○	
	協調性			○	
	技能テスト	○			
	ルールテスト	○	○		
	実技ノート		○	○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

# 指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	A 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体カテスト</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解し、健康の保持増進や体力の向上を目指す。</li> </ul>	知・技:新体カテスト得点
	H 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かなスポーツライフの設計</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツの見方・考え方を理解し、生涯にわたる豊かなスポーツライフを主体的に実践できるようにする。</li> </ul>	実技ノート
	E 球技①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット型</li> <li>・ゴール型</li> <li>・ベースボール型</li> <li>・ターゲット型</li> </ul>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</li> <li>・自主的に取り組み、作戦などについての話し合いに貢献することや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	知・技:技能テスト・協調性 思:ルールテスト・安全性 主:主体性・実技ノート
F 武道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方や、技の名称、体力の高め方などを理解する。</li> <li>・基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。</li> </ul>		
G ダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的なリズムのダンス</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方を理解する</li> </ul>		
から1種目選択					
2	E 球技②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット型</li> <li>・ゴール型</li> <li>・ベースボール型</li> <li>・ターゲット型</li> </ul>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</li> <li>・自主的に取り組み、作戦などについての話し合いに貢献することや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	知・技:技能テスト・協調性 思:ルールテスト・安全性 主:主体性・実技ノート
	E 球技③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット型</li> <li>・ゴール型</li> <li>・ベースボール型</li> <li>・ターゲット型</li> </ul>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</li> <li>・自主的に取り組み、作戦などについての話し合いに貢献することや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	知・技:技能テスト・協調性 思:ルールテスト・安全性 主:主体性・実技ノート
から1種目選択					
3	H 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフスタイルに応じたスポーツ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの人のスポーツライフを調べ、自分でスポーツライフを設計できるようにする。</li> </ul>	

令和6年度 シラバス 英語コミュニケーションⅢ 文I・理型

教科名	外国語（英語）	科目名	英語コミュニケーションⅢ	履修学年	第3学年
		単位数	4単位		
使用教材	教科書 数研出版 BIG DIPPER English Communication Ⅲ 副教材 数研出版 必携 英単語 LEAP 数研出版 BIG DIPPER 英語総合演習 数研出版 Front Runner 3 エスト出版 Best Collection 共通テスト対策問題集英語リスニング 15/30 模擬試験仕様 エスト出版 Best Collection 共通テスト対策問題集英語リーディング 40/80 模擬試験仕様				
科目目標	<p>英語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えをよりの確に理解したり、より適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 英語の音声的な特徴を踏まえた音読活動を重視して、コミュニケーションにおいて目的に応じた知識の活用がさらにできる。</p> <p>(2) 状況に合わせて、与えられた情報の中から必要な情報を整理して、より適切な判断や表現をすることができる。</p> <p>(3) ディスコースマーカー等の表現から、段落の大意を捉えて、論理展開に注意して、より様々な事象を多面的かつ多角的に分析して運用することができる。</p>				
履修上の注意点	<p>コミュニケーション英語Ⅱで学習したことを土台として、授業に積極的に参加することが求められる。また、英語を音読することを中心に、毎週の課題にじっくり取り組んで、これまでに身に付けた能力をさらに高めていくことを目指す。</p>				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	小テスト	○			
	パフォーマンステスト		○		
	音読／課題取組	○	○	○	
	英単語テスト			○	
	課題考査			○	
	Google Forms課題			○	
	振り返りシート			○	
	各観点の割合	30%	40%	30%	

## 指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	Lesson1 Lesson2	L1 Is the Meat Real or Fake? L2 Let' s Have a Healthy Workout	計 52	各 Lesson を題材に、長文読解対策および文法の学習を行う。パフォーマンステストは、各 Lesson の内容を題材に実施することを基本とする。	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：振り返りシート・小テスト・課題考査・Google Forms 課題・振り返りシート
2	Lesson3 ～ Lesson10	L3 My Opinion of Zoos L4 The History of Ekiben L5 Three Tips for Maintaining a Conversation L6 The History of Recorded Music L7 Online Word-of-Mouth L8 After the Flowers L9 Hot Springs at Home and Abroad L10 Kintsugi	計 52	各 Lesson を題材に、長文読解対策および文法の学習を行う。パフォーマンステストは、各 Lesson の内容を題材に実施することを基本とする。	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：振り返りシート・小テスト・課題考査・Google Forms 課題・振り返りシート
3	Lesson11	L11 Art on Display	計 36	各 Lesson を題材に、長文読解対策および文法の学習を行う。パフォーマンステストは、各 Lesson の内容を題材に実施することを基本とする。	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：振り返りシート・小テスト・Google Forms 課題・振り返りシート

令和6年度 シラバス 学校設定科目 論理表現Ⅲ

教科名	外国語（英語）	科目名	論理表現Ⅲ	履修学年	第3学年（理・文Ⅰ）	
		単位数	2単位			
使用教材	New Favorite English Logic and Expression Ⅲ（東京書籍） 英語演習ノート Green 版（数研出版） Unite 英語総合問題集 2（数研出版）					
科目目標	さまざまなテーマについて情報や相手の意向等を英語で理解し、情報や自分の考えを英語で伝える能力を一層伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。					
履修上の注意点	英語の学習は不断の努力によって前進する。よって、常に挑戦する心を忘れずに、積極的に課題に取り組むことが求められる。また、分からないことは教員に質問に行くことを習慣化することが大事である。					
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度		
	定期考査	○	○			
	小テスト（英語演習ノート）	○				
	パフォーマンステスト（リーディング）		○			
	課題取組（New Favorite English ワークブック）			○		
	課題取組（英語演習ノート）			○		
	各観点の割合	30%	40%	30%		

指導と評価の計画

学期	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4 Lesson5 Lesson6 Lesson7 Lesson8 Lesson9 Lesson10	計26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食糧問題についてディスカッションする（議論・提案）</li> <li>・メールで近況を伝える（気持ちを伝える）</li> <li>・学校新聞でアドバイスする（助言）</li> <li>・英語演習ノートL1～L5の例文・説明文）</li> <li>・宇宙についてスピーチする（主張・仮定）</li> <li>・イベントなどを説明する（基本情報・詳細を</li> <li>・理想の場所や時間を描写する（見た目の描写）</li> </ul>	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：単語テスト・課題
2	Unite 英語総合問題集 Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4 Lesson5 Lesson6 Lesson7 Lesson8 Lesson9 Lesson10 Lesson11 Lesson12	計26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞（結婚式を挙げる場所）</li> <li>・受動態（日本の包蔵水力について）</li> <li>・不定詞・動名詞（手に埋め込んだマイクロチップ）</li> <li>・不定詞・動名詞（クロマグロの保護）</li> <li>・分詞・分詞構文（モートンリッジホテルへようこそ）</li> <li>・準動詞（アボカドが環境に与える影響）</li> <li>・関係詞（留学プログラムについてのメール）</li> <li>・関係詞（カップ麺の歴史）</li> </ul>	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：単語テスト・課題
3	Lesson13 Lesson14	計18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮定法（カフェのレビュー紹介）</li> <li>・否定（E-wasteとは）</li> </ul>	知：定期考査・小テスト 思：定期考査 主：単語テスト・課題

# 令和6年度 シラバス

教科名	理科	科目名	化学	履修学年	第3学年理型
単位数	4単位	使用教材	教科書 数研出版 新編化学 副教材 第一学習社 新課程二訂版 スクエア最新図説化学 問題集 第一学習社 新課程版セミナー化学基礎+化学		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学基礎で学んだ内容を用いて、気体や溶液の性質や化学反応の詳細な部分について理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。</li> <li>・無機物質の性質や反応を探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることが理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。</li> <li>・有機化合物の性質や反応を探究し、有機化合物の分類と特徴が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。</li> <li>・高分子化合物の性質や反応を探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。</li> </ul>				
履修上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持参物:教科書、問題集、資料集(デジタル)</li> <li>・配布プリントは整理し、管理すること。</li> <li>・実験をした内容と、化学の基本原理・法則を関連づけて理解する。</li> </ul>				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	小テスト	○			
	単元テスト		○		
	定期考査	○		○	
	振り返り・ 実験レポート		○	○	
	問題集(提出物)			○	
	各観点の割合	30%	30%	40%	

# 指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	物質の状態	第1編 物質の状態 第3章 気体 1 気体の体積 2 気体の状態方程式 3 混合気体の圧力 4 実在気体  第4章 溶液 1 溶解とそのしくみ 2 溶解度 3 希薄溶液の性質 4 コロイド溶液	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>理想気体の体積や圧力、絶対温度の関係についてボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則が成りたつことを理解し、これらの関係が式で表せることも理解する。</li> <li>ボイル・シャルルの法則から理想気体の状態方程式が導かれることを理解する。</li> <li>混合気体について、理想気体の状態方程式から導かれる分圧の法則について理解する。</li> <li>実在気体と理想気体との違いについて理解し、その違いを踏まえ、実在気体を理想気体とみなして扱える条件についても理解する。</li> <li>イオン結晶や分子からなる物質の溶解について、溶質および溶媒の極性の有無などと関連付けながら、その仕組みや溶解性の違いを理解する。</li> <li>飽和溶液において成りたっている溶解平衡について理解する。また、気体の溶解度と温度・圧力の関係について理解し、ヘンリーの法則についても理解する。</li> <li>希薄溶液では溶質の数にのみ依存して成りたつ共通の性質(蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧)があることを理解し、それぞれの現象についても理解する。</li> <li>コロイドとその分類について理解し、コロイド溶液に特徴的な性質(チンダル現象、ブラウン運動、透析、電気泳動)を現象を交えて理解する。</li> </ul>	知:定期考査 小テスト 思:単元テスト 振り返り 実験レポート 主:定期考査 振り返り 実験レポート 問題集(提出物)
	物質の変化	第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー 1 化学反応と熱 2 ハスの法則 3 化学反応と光  第3章 化学反応の速さとしくみ 1 化学反応の速さ 2 反応条件と反応速度 3 化学反応のしくみ  第4章 化学平衡 1 可逆反応と化学平衡 2 平衡状態の変化 3 電解質水溶液の化学平衡	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応に伴って放出・吸収する熱量をエンタルピー変化で表すことと、反応エンタルピーの種類とそれぞれの定義について理解する。</li> <li>ハスの法則を用いることで実験で測定が困難な反応エンタルピーを求めることができることを理解する。</li> <li>化学反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差が光の発生や吸収となって現れることを、光合成や光触媒などの身近な具体例を交えながら理解する。</li> <li>反応速度の表し方とその求め方を理解する。</li> <li>速度定数を用いた反応速度式の表し方と実験データからの速度定数の求め方を理解する。</li> <li>化学反応のしくみについて、反応速度に影響を与える要因などと反応の活性化エネルギーなどを関連付けながら理解する。</li> <li>可逆反応と平衡状態について理解し、平衡状態では濃度を用いて平衡定数が記述できることを理解する。</li> <li>平衡の移動に関するルシャトリエの原理を理解し、濃度・圧力・温度を変化させることによって平衡がどのように移動するか理解する。</li> <li>電解質水溶液においても電離平衡が成りたつことを理解し、弱酸や弱塩基における濃度、電離度、電離定数、水のイオン積、pHの関係を理解する。</li> </ul>	
2	無機物質	第3編 無機物質 第1章 非金属元素 1 元素の分類と周期表 2 水素・貴ガス元素 3 ハロゲン元素 4 酸素・硫黄 5 窒素・リン	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>周期表に基づいて、元素の分類や周期性について理解する。</li> <li>水素や貴ガスの性質を理解する。</li> <li>ハロゲン元素の単体や化合物の性質を理解する。</li> <li>酸素と硫黄の単体や化合物の性質を理解する。</li> <li>窒素とリンの単体や化合物の性質を学ぶ。特</li> <li>炭素とケイ素の単体や化合物の性質を理解する。</li> <li>アルカリ金属元素の単体や化合物、イオンの性質を理解する。</li> </ul>	知:定期考査 小テスト 思:単元テスト 振り返り 実験レポート 主:定期考査 振り返り

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
		6 炭素・ケイ素  第2章 金属元素(I)-典型元素- 1 アルカリ金属元素 2 アルカリ土類金属元素 3 アルミニウム・スズ・鉛  第3章 金属元素(II)-遷移元素- 1 遷移元素の特徴 2 鉄 3 銅 4 銀・金 5 亜鉛 6 クロム・マンガン 7 金属イオンの分離・確認・		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルカリ土類金属の単体や化合物, イオンの性質を理解する。</li> <li>・アルミニウムとスズ, 鉛の単体や化合物, イオンの性質を理解する。</li> <li>・遷移元素の特徴について, 電子配置などに基づいて理解する。</li> <li>・鉄の単体や化合物, イオンの性質を理解する。</li> <li>・銅の単体や化合物, イオンの性質を理解する。</li> <li>・銀の単体や化合物, イオンの性質を理解する。</li> <li>・亜鉛の単体や化合物, イオンの性質を理解する。</li> <li>・クロム, マンガンの単体や化合物, イオンの性質を理解する。</li> <li>・それぞれの金属イオンの反応性の違いに基づいて, 複数の金属イオンを含む混合溶液から金属イオンを分離する方法を理解する。</li> </ul>	実験レポート 問題集(提出物)
	有機化合物	第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析 1 有機化合物の特徴と分類 2 有機化合物の分析  第2章 脂肪族炭化水素 1 飽和炭化水素 2 不飽和炭化水素  第3章 アルコールと関連化合物 1 アルコールとエーテル 2 アルデヒドとケトン 3 カルボン酸 4 エステルと油脂  第4章 芳香族化合物 1 芳香族炭化水素 2 フェノール類と芳香族カルボン酸 3 芳香族アミンとアゾ化合物 4 有機化合物の分離	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機化合物の特徴とその分類方法を理解する。</li> <li>・有機化合物の分析の手順を理解した上で, 成分元素の検出と元素分析について理解する。</li> <li>・アルカンの名称と分子式, 立体構造, 構造異性体について理解する。</li> <li>・アルケンやアルキンの名称や分子式, 立体構造, 不飽和結合に基づく性質について理解する。</li> <li>・アルコールとエーテルの名称と構造, 性質, 反応性を理解する。</li> <li>・アルデヒドとケトンの名称や構造, 性質, 反応性を理解する。特に, アルデヒドは還元性をもつことから銀鏡反応およびフェーリング液の還元反応が陽性になることを理解する。</li> <li>・カルボン酸の名称や分類, 構造, 性質, 反応性を理解する。</li> <li>・エステルと油脂の名称や構造, 性質, 反応性を理解する。</li> <li>・ベンゼンの構造とその表し方, 性質, 反応性について理解する。</li> <li>・フェノール類と芳香族カルボン酸について, その名称や構造, 性質, 反応性を理解する。</li> <li>・芳香族アミンの名称や構造, 性質, 反応性について理解する。</li> <li>・有機化合物の性質を利用して, その混合物を分離することを理解する。</li> </ul>	
3	高分子化合物	第5編 高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質 1 高分子化合物の構造と性質 2 金属結晶  第2章 天然高分子化合物 1 糖類 2 アミノ酸とタンパク質 3 核酸  第3章 合成高分子化合物 1 合成繊維 2 合成樹脂 3 ゴム	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高分子化合物の分類や構造, 重合方法, 特徴などを理解する。</li> <li>・単糖類, 二糖類, 多糖類の種類や名称, 構造, 性質, 反応性について理解する。</li> <li>・<math>\alpha</math>-アミノ酸の名称や構造, 性質, 反応性について理解する。</li> <li>・核酸(DNA と RNA)を構成する糖や塩基, リン酸の名称や構造について理解する。</li> <li>・縮合重合, 開環重合, 付加重合によって合成される合成繊維について, その名称や構造, モノマー, 性質, 利用例などを理解する。</li> <li>・合成樹脂の種類や名称, 構造, 性質, 利用例などについて理解する。</li> <li>・天然ゴムと合成ゴムの種類や名称, 構造, モノマー, 性質, 利用例などについて理解する。</li> </ul>	知: 定期考査 小テスト 思: 単元テスト 振り返り 実験レポート 主: 定期考査 振り返り 実験レポート 問題集(提出物)

# 令和6年度 シラバス

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	履修学年	3
単位数	3	使用教材	高等学校 数学Ⅲ (数研出版) クリアー 数学Ⅲ (数研出版)		
科目目標	<p>極限、微分法及び積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>① 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>③ 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
履修上の注意点	<p>予習を行い授業に参加すること。</p> <p>授業内で実施する小テストに意欲的に取り組むこと。</p> <p>提出物は期限を守り提出すること。</p>				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	単元別考査	○	○		
	探究活動		○		
	課題			○	
	アピールシート			○	
	小テスト			○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

# 指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	第1章 関数		10	分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用できるようにする。	知：単元別考査で知識の定着を確認する。 思：単元別考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。
	第2章 極限	第1節 数列の極限	12	数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できるようにする。	主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。
		第2節 関数の極限	12	数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。	
	第3章 微分法	第1節 導関数	8	微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用できるようにする。	
第2節 いろいろな関数の導関数		8	導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。ができるようにする。		
2	第4章 微分法の 応用	第1節 導関数の応用	9	導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。	知：単元別考査で知識の定着を確認する。 思：単元別考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。 主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。
		第2節 いろいろな応用	7	関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、点の運動や近似式についても理解し、導関数を様々な方法で活用する姿勢を育てる。	
	第5章 積分法と その応用	第1節 不定積分	9	様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。	
		第2節 定積分	9	様々な関数の定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。	
		第3節 積分法の応用	11	定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。	
3		数学Ⅲの復習	10	微分、積分の概念を統合して理解し、問題を解くことができる。	知：単元別考査で知識の定着を確認する。 思：単元別考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。 主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。

令和6年度 シラバス

教科名	数学	科目名	数学B	履修学年	3 (理型)
単位数	3	使用教材	高等学校 数学B (数研出版) クリアー 数学B (数研出版)		
科目目標	<p>数列について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>① 数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>③ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
履修上の注意点	<p>予習を行い授業に参加すること。</p> <p>授業内で実施する小テストに意欲的に取り組むこと。</p> <p>提出物は期限を守り提出すること。</p>				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	単元別考査	○	○		
	探究活動		○		
	課題			○	
	アピールシート			○	
	小テスト			○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

# 指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	第1章 数列	第1節 等差数列と等比数列	10	数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	<p>知：単元別考査で知識の定着を確認する。</p> <p>思：単元別考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。</p> <p>主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。</p>
		第2節 いろいろな数列	13	和の記号 $\Sigma$ の表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。	
		第3節 漸化式と数学的帰納法	12	数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	
	第4章 式と曲線 (数学C)	第2節 媒介変数表示と極座標	10	曲線が媒介変数を用いて表される仕組みを理解し、様々な曲線の媒介変数表示について考察できるようにする。また、極座標の仕組みについて理解し、図形を極方程式で表したり、極方程式が表す図形を求めたりできるようにする。さらに、コンピュータを用いるなどして、様々な曲線についてその方程式や概形について、主体的に考察しようとする姿勢を養う。	
2		数学I・II・B・Cの復習	50	教科書レベルの問題から、入試レベル、発展的な問題を解けるようにする。	<p>知：単元別考査で知識の定着を確認する。</p> <p>思：単元別考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。</p> <p>主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。</p>
3		数学I・II・B・Cの復習	10	教科書レベルの問題から、入試レベル、発展的な問題を解けるようにする。	<p>知：単元別考査で知識の定着を確認する。</p> <p>思：単元別考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。</p> <p>主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。</p>

## 令和6年度 シラバス

教科名	情報	科目名	情報の探究	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材			
科目目標	<p>情報Ⅰで身につけた基本的な知識をもとに、データ分析、モデル化とシミュレーションの社会とのつながりに注目し、社会で通用する知識・技能を身につける。また、身につけた知識・技能をもとに探究学習を行い、主体的に考えて課題設定する力、課題解決に必要な情報収集力、情報を整理・分析して答えを作る力、成果をまとめ、発表することで対話的に学ぶ力を身につける。</p>				
履修上の注意点	<p>・プリント授業とコンピュータを利用した実習授業を行います。  実習授業の回に欠席すると、実習点がつきません。とにかく出席し、実習に取り組む</p>				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○			
	ワークシート			○	
	実習課題		○	○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

# 指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1 学 期	データ分 析	データ分析と社会	(15)	身近なデータを分析し、データ分析が社会に与える影響について理解する。 (全員) データ収集・分析・考察の流れを全員で取組む。 ・学校の食堂のデータを分析する。 食堂利用者を増やし、食堂の売り上げを上げるために必要なことをデータから読み取る。  (グループ) 共通の興味関心を持つグループを作り、グループでテーマを設定し、データ収集・分析・考察についてグループで取り組む。  グループ発表→相互評価→改善・修正	知：定期考査 思：実習 主：ワークシート 振り返りシート
			(16)	探究学習（個人） 自分の進路につながるテーマを設定し、データ収集・分析・考察について個人で取り組む  個人発表→相互評価→改善修正	知：定期考査 思：実習 主：ワークシート 振り返りシート
	モデル化 とシミュ レーショ ン	モデル化とシミュレーションと社会	(21)	身近な事象をモデル化→シミュレーションし、モデル化とシミュレーションが社会に与える影響について理解する。 (全員) モデル化・シミュレーション・考察の流れを全員で取組む。 ・学校の歯科検診についてシミュレーションし、考察する。 歯科医の人数と待ち時間について考察する。  (グループ) 共通の興味関心を持つグループを作り、グループでテーマを設定し、モデル化・シミュレーション・考察についてグループで取り組む。」  グループ発表→相互評価→改善・修正	知：定期考査 思：実習 主：ワークシート 振り返りシート
			(18)	探究学習（個人） 自分の進路につながるテーマを設定し、モデル化・シミュレーション・考察について個人で取り組む。  個人発表→相互評価→改善修正	知：定期考査 思：実習 主：ワークシート 振り返りシート
2 学 期					
3 学 期					